

## 令和5年度当初予算案 補足説明資料（教育委員会関係）

〔(新)(拡)・・・新規・拡充事業〕

1 (新) 第4期「ひょうご教育創造プラン」の策定	p 1
<b>I 「生きる力」を育む教育の推進</b>	
◆ 「確かな学力」の育成	
2 (新) 第72回全国へき地教育研究大会兵庫大会の開催支援	p 1
3 (拡) HUMAP(兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク)・高校生の留学促進事業の実施	p 2
4 (新) 発展的統合校交流支援事業の実施	p 2
5 (新) 県立高校魅力アップ推進事業	p 3
◆ 「健やかな体」の育成	
6 (新) 令和5年度全国学校保健・安全研究大会兵庫大会の開催支援	p 4
◆ 特別支援教育の推進	
7 (新) 次期特別支援教育推進計画検討委員会の設置	p 4
8 (新) 特別支援教育センターの機能強化	p 5
9 (新) 豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合	p 5
10 (新) 東播磨地域の知的障害特別支援学校隘化対策	p 6
<b>II 子どもたちの学びを支える環境の充実</b>	
◆ 教職員の資質・能力の向上	
11 (新) 教員の魅力発信事業の実施	p 7
12 (拡) 臨時講師等の人材確保	p 7
13 (新) 兵庫県GIGAスクール運営支援センター設置事業	p 8
14 (新) デジタル技術を活用した県立学校業務の効率化の推進	p 9
15 (拡) 教職員の働き方改革の推進	p10
◆ 学校の組織力強化	
16 (新) ひょうご不登校対策プロジェクトの実施	p11
◆ 修学環境の整備・充実	
17 (新) 県立学校環境充実事業の実施(R5～R10)	p12
18 (新) ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業の実施	p13
◆ 家庭と地域による学校と連携した教育の推進	
19 (拡) 地域と学校の連携・協働体制推進事業	p14
<b>III 人生100年を通じた県民の学びの推進</b>	
◆ 主体的に生きるための学びと場の充実	
20 (新) 第45回全国公民館研究集会兵庫大会等の開催支援	p15
21 (拡) ひょうごプレミアム芸術デーの実施	p15
22 (新) 県立歴史博物館40周年記念事業の実施	p16
23 (新) HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクトの実施	p16
◆ 「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進	
24 (新) 特別国民体育大会等近畿ブロック大会の開催	p17
25 (拡) スポーツ大会招致事業	p17
26 (新) 幼児の運動習慣づくり推進事業	p18
(参考資料) 教育予算の充実	p19

令和5年度当初予算案 補足説明資料

事業名	(新)第4期「ひょうご教育創造プラン」の策定				
予算額 (千円)	1,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	1,000
事業内容	<p>第3期「ひょうご教育創造プラン」(計画期間:令和元年度~令和5年度)の計画期間満了に伴い、現プランの成果や課題、社会情勢の変化、喫緊の教育課題等を踏まえ、第4期「ひょうご教育創造プラン」(計画期間:令和6年度~令和10年度)を策定する。</p> <p><b>1 兵庫県教育振興基本計画検討委員会の開催:750千円</b>          本県教育の振興のための施策に関する計画を策定するに当たり、兵庫県教育振興基本計画検討委員会を設置し、その基本となる事項及び主要な課題等について検討する。          ○ 委員構成 26名程度(学識経験者、学校関係者等)          ○ 開催回数 4回</p> <p><b>2 第4期「ひょうご教育創造プラン」の作成・配布:250千円</b>          県内教育関係者等に周知するため、策定した第4期ひょうご教育創造プランを作成・配布する。          ○ 作成部数 2,400部</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局教育企画課教育企画班	連絡先	078-362-3214	(内線5792)	

事業名	(新)第72回全国へき地教育研究大会兵庫大会の開催支援				
予算額 (千円)	1,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	1,000
事業内容	<p>へき地における義務教育の特殊性に鑑み、教員の研修機会の確保のため、本県で実施する全国大会を支援</p> <p>○ 日 程 令和5年10月12日、13日          ○ 会 場 姫路市等6市          ○ 主 題 ふるさとに夢や誇りをもって、未来の創り手となる子どもの育成~へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして~          ○ 内 容 全体会、アトラクション、分散会、分科会(公開授業等)          ○ 実施手法 実行委員会へ負担金支出</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局義務教育課初等・中学校教育班	連絡先	078-362-3772	(内線5719)	

事業名	(拡)HUMAP(兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク)・高校生の留学促進事業の実施				
予算額 (千円)	43,548	国庫	特定	起債	一般
		19,052	0	0	24,496
事業 内容	海外に留学する大学生・高校生を対象として、留学費用の一部を支援するとともに、昨今の急激な円安を踏まえ、影響の大きい長期留学(原則1年間)への補助単価を増額				
	○ 事業概要				
	区分	大学生 HUMAP (兵庫・アジア太平洋大学間交流ネットワーク)	短期留学 (全額国庫)	長期留学	はじめて留学(※) (県単)
	留学期間	6ヶ月以上1年以内	10日以上1ヶ月未満	1年間	7日以上1ヶ月未満
	対象人数	20人(うち継続10人)	220人	12人	60人
(拡) 補助単価	指定都市:13.5万円(現行:10万円) 甲地方 :10.8万円(現行:8万円) 乙地方 :9.5万円(現行:7万円) 丙地方 :8.1万円(現行:6万円)	6万円	40万円 (現行:30万円)	20万円上限 (補助率2/3)	
※奨学資金の貸与基準以下の世帯を対象 ※増額支援は令和5年度限り					
担当課	総務部教育課連携教育推進班 私学教育班 教育委員会事務局高校教育課教育指導班	連絡先	078-362-3368 078-362-3104 078-362-9447	(内線 2532 ) (内線 2526 ) (内線 5712 )	

事業名	(新)発展的統合校交流支援事業の実施				
予算額 (千円)	2,400	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	2,400
事業 内容	令和7年度に発展的統合予定の6組14校の県立高等学校に対し、対象校同士が円滑に統合できるよう、各校の学びの交流を支援				
	○ 実施内容 発展的統合対象校による学びの特色合同発表会を開催 ※年間を通じた発表準備、2月の発表会を通じて、統合校同士の学びの交流を促進				
	○ 補助金額 40万円/組				
	(成果指標)				
		指標名	R5	R6	最終目標
	他校の特色について理解することができたと思う生徒(統合対象校)	75.0%	100.0%	100.0% [R6年度]	
(事業期間)令和6年度まで ※令和7年度に統合予定					
担当課	教育委員会事務局高校教育課高校教育改革班	連絡先	078-362-4047	(内線 5891 )	

事業名	(新)県立高校魅力アップ推進事業				
予算額 (千円)	55,860	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	55,860
事業 内容	<p>各校が定めた教育目標に基づき、日々の教育活動の中で創意工夫に努め、「学びたいことが学べる学校づくり」を一層推進するため、全県立高等学校の特色ある取組を支援する。</p> <p>○ 対象校 全県立高等学校及び中等教育学校 (147校)</p> <p>○ 取組内容</p>				
	<p>スクール・ミッション等に基づく魅力・特色づくりの推進</p>				
	<p>学校外の機関等との連携による独自の特色あるカリキュラムの展開</p>				
	<p>地元自治体、大学、企業等との連携による特色ある教育活動の展開</p>				
	<p>メディア関連企業等との連携による動画等の企画・制作に力点を置いた特色ある表現活動の展開</p>				
	<p>自己や他者の理解に基づき行動できる能力を育む教育の推進</p>				
	<p>産業現場で働く先輩との交流やインタビュー等、キャリア・プランニング能力を高める教育活動の展開</p>				
	<p>日本や郷土の伝統と文化を理解し、異なる文化を有する人々に伝える力を育成する教育活動の展開</p>				
	<p>海外の異なる文化や習慣を理解し、交流等を通して協働しようとする力を育成する教育活動の展開</p>				
	<p>新たな価値観を創造する力を育む教育の推進</p>				
<p>大学等の研究機関、企業等との連携による、先端技術を活用した探究活動を軸とする教育課程の展開</p>					
<p>地元企業や生産者等と連携し新たな付加価値の創造などに関する探究活動を軸とする教育課程の展開</p>					
<p>学校独自の動画コンテンツ等、ICT等の活用を軸とする個別最適化した教育活動の展開</p>					
<p>※「県立高等学校教育改革第三次実施計画（R4.3策定）」に基づき、時代の変化に対応できる、高校の新たな魅力・特色づくりを推進する。</p>					
担当課	教育委員会事務局高校教育課課高校教育改革班	連絡先	078-362-4047	(内線 5891)	

事業名	(新)令和5年度全国学校保健・安全研究大会兵庫大会の開催支援				
予算額 (千円)	3,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	3,000
事業内容	<p>学校保健・学校安全の充実発展に資するため、生涯にわたり心豊かにたくましく生きる子供の育成を目指すための諸課題について研究協議を行う本大会を支援</p> <p>○ 日 程 令和5年10月26日、27日</p> <p>○ 会 場 神戸市</p> <p>○ 主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進～自ら健康課題の解決に取り組み、未来を切り拓く子供の育成～</p> <p>○ 内 容 全体会（開会式、表彰式、講演）、課題別研究協議会</p> <p>○ 実施手法 実行委員会へ負担金支出</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局体育保健課保健安全班	連絡先	078-362-3789	(内線 5781)	

事業名	(新)次期特別支援教育推進計画検討委員会の設置				
予算額 (千円)	1,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	1,000
事業内容	<p>「兵庫県特別支援教育第三次推進計画」(R5年度末で終了)の取組を評価検証し、次期計画を策定するための検討委員会を設置するとともに、通学支援部会を設置し、長距離通学の改善・解消に向けたスクールバスの運行方法を検討</p> <p><b>1 次期特別支援教育推進計画検討委員会の開催：669千円</b></p> <p>○ 検討内容 ・計画の評価検証 ・今後の特別支援教育の在り方</p> <p>○ 構 成 員 学識経験者、行政関係者、教育関係者、保護者</p> <p>○ 開催回数 4回/年</p> <p><b>2 通学支援部会の設置・開催：331千円</b></p> <p>○ 検証内容 ・スクールバスの運行基準等について他府県調査 ・学校・保護者へのアンケートの実施 ・試運転によるコース検討</p> <p>○ 構 成 員 保護者代表、バス会社関係、医療関係、介助員関係、福祉関係 等</p> <p>○ 開催回数 3回/年</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局特別支援教育課教育推進班	連絡先	078-362-3774	(内線 5726)	

事業名	(新)特別支援教育センターの機能強化				
予算額 (千円)	5, 357	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	5,357
事業内容	<p>令和5年4月1日に県立特別支援教育センター(神戸市)を県立教育研修所(加東市)に移転し、連携することで研修機能を強化するとともに、教育相談体制を充実</p> <p><b>1 研修機能の強化：619千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県立教育研修所と研修体系や内容を一体的に企画運営</li> <li>○ 県立教育研修所のICT環境を活用した研修の実施</li> </ul> <p><b>2 教育相談体制の充実：4,738千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員 6人</li> <li>・心理判定事務員 1人</li> </ul> </li> <li>○ 新たな取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる教育相談の実施</li> <li>・学校と連携した出前教育相談の実施</li> </ul> </li> </ul>				
担当課	教育委員会事務局特別支援教育課教育推進班	連絡先	078-362-3774	(内線 5726)	

事業名	(新)豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合				
予算額 (千円)	121, 726	国庫	特定	起債	一般
		0	0	108,600	13,126
事業内容	<p>兵庫県特別支援教育第三次推進計画にもとづく縦横連携を推進し、児童生徒の自立と社会参加をめざした、より質の高い教育を実現できるよう、県立豊岡聴覚特別支援学校と県立出石特別支援学校を発展的に統合</p> <p><b>○ 整備概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所在地 豊岡市九日市上町</li> <li>・開校時期 令和9年4月</li> <li>・障害種別 知的障害、聴覚障害</li> <li>・設置学部 (知的) 小学部、中学部、高等部 (聴覚) <u>保育相談部</u>、幼稚部、小学部、中学部、<u>高等部</u></li> </ul> <p style="text-align: center;">※下線部は新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 90人</li> <li>・総事業費 約44億円</li> <li>・スケジュール 令和5～6年度：設計、令和6～8年度：建築工事等</li> <li>・その他 寄宿舎を継続設置(対象：聴覚部門)(定員6名(小～高の想定定員合計))</li> </ul>				
担当課	教育委員会事務局特別支援教育課整備班	連絡先	078-362-9372	(内線 5727)	

事業名	(新)東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策				
予算額 (千円)	441,486	国庫	特定	起債	一般
		0	0	323,600	117,886
事業 内容	東播磨地域における在籍児童生徒数の増加を見据え、3校の整備による狭隘化対策を実施				
	<b>1 いなみ野特別支援学校の建替：219,504千円</b> ○ 所在地 加古郡稲美町国安 ○ 整備内容 既存校舎を解体し、新校舎に建替（令和9年度供用開始） 現校舎 約7,000㎡ → 新校舎 約11,700㎡ ○ 定員 350人（現行252人） ○ 総事業費 約73億円 ○ スケジュール 令和5～6年度 設計 令和6～9年度 現校舎解体・建替工事、仮設設置・移転				
	<b>2 市立学校施設活用による新設：140,483千円</b> ○ 所在地 加古川市平荘町山角 （加古川市立平荘小学校跡地を活用（R6.3月閉校）） ○ 開校時期 令和8年4月 ○ 障害種別等 知的障害（小学部・中学部・高等部） ○ 定員 170人 ○ 整備内容 校舎を増築（令和8年度供用開始） 既存校舎の改修（令和9年度供用開始） ○ 総事業費 約35億円 ○ スケジュール 令和5～6年度 設計 令和7～8年度 校舎増築工事、既存校舎改修工事				
<b>3 東はりま特別支援学校校舎の増築：81,499千円</b> ○ 所在地 加古郡播磨町北古田 ○ 整備内容 校舎を増築（令和7年9月供用開始） 既存校舎 約8,500㎡、増築校舎 約1,700㎡、計10,200㎡ ○ 定員 330人（現行204人） ○ 総事業費 約10億円 ○ スケジュール 令和5年度 設計、令和6～7年度 増築工事					
担当課	教育委員会事務局特別支援教育課整備班	連絡先	078-362-9372	(内線5727)	

事業名	<b>(新)教員の魅力発信事業の実施</b>																		
予算額 (千円)	1, 568	国庫	特定	起債	一般														
		0	0	0	1,568														
事業 内容	<p>質の高い教員をより多く確保するため、PR動画の制作や講座等の実施により、教員の魅力を発信</p> <p><b>1 PR動画の制作(3本:中・高・特支):1,485千円</b> 初任者の1日を追いかける形で働き方改革の成果や必要とする教員像を示しながら、SNSやデジタルサイネージで発信</p> <p><b>2 県立学校向け説明会の実施:60千円</b> 進路座談会に県教委職員を派遣し、高校生に教員の魅力を発信 ○ 対 象 県立学校162校</p> <p><b>3 教員免許保有者向け講座の実施(神戸、姫路、豊岡):23千円</b> 教員免許を保有するが、教員の職に就いていない者の掘り起こしを図るため、勤務経験がない者等を対象とした講座を開講</p> <p>(成果指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>最終目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員の応募倍率</td> <td>5.3倍</td> <td>5.4倍</td> <td>5.6倍</td> <td>5.8倍</td> <td>6.0倍</td> <td>6.0倍</td> </tr> </tbody> </table> <p>(見直し基準)応募倍率が3.0倍未満となった場合、事業の見直しを実施</p>					指標名	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標	教員の応募倍率	5.3倍	5.4倍	5.6倍	5.8倍	6.0倍	6.0倍
	指標名	R5	R6	R7	R8	R9	最終目標												
	教員の応募倍率	5.3倍	5.4倍	5.6倍	5.8倍	6.0倍	6.0倍												
担当課	教育委員会事務局教職員人事課人事班(採用・育成担当)	連絡先	078-362-9385	(内線5893)															

事業名	<b>(拡)臨時講師等の人材確保</b>				
予算額 (千円)	—	国庫	特定	起債	一般
		—	—	—	—
事業 内容	<p>学校における臨時講師等について、市町教育委員会とも連携しながら、人材確保に取り組む。</p> <p><b>1 講師人材バンクの活用</b> ○ 内 容 ・登録情報の一括管理による校種、地域を超えた幅広い情報共有及び素早いマッチング ・教員養成大学や定年退職者等への働きかけの強化 ・講師登録の簡略化 ・学校勤務未経験者等を対象とした支援講座の実施 ・臨時免許状希望者人材バンクの設置</p> <p><b>2 ハローワークやインターネットを活用した民間求人媒体の積極的活用</b> ○ 内 容 ・ハローワークでのポスター及びチラシの掲示</p>				
	担当課	教育委員会事務局教職員人事課人事班(採用・育成担当) 教育委員会事務局教職員企画課管理・免許班(免許担当)	連絡先	078-362-9385 078-362-3749	(内線5893) (内線5652)



事業名	(新)兵庫県 GIGA スクール運営支援センター設置事業				
予算額 (千円)	57,664	国庫	特定	起債	一般
		28,832	6,426	0	22,406
事業 内容	<p>教員のICT活用を支援し、ICTを活用した学びを推進するため、各学校からの問い合わせ窓口となるGIGAスクール運営支援センター等を県教育委員会及び市町教育委員会等に設置するとともに、ICTの活用に関して課題や好事例の共有等を行なう協議会を設置し、広域連携を図る。</p> <p>○ 兵庫県GIGAスクール運営支援センター：57,664千円 学校からの問い合わせ窓口となるヘルプデスクの設置及びセキュリティ対策を担う専門的人材等の配置</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルプデスクの運営及びサポート対応</li> <li>・ネットワークトラブル対応、アセスメント</li> <li>・支援人材の育成</li> <li>・休日・長期休業等トラブル対応</li> </ul> <p>○ 兵庫県教育の情報化推進協議会 県・市町間でICT活用の状況等について情報交換</p> <p>【内容（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール運営支援センターの取組事例</li> <li>・各自治体での1人1台端末活用に関する好事例</li> <li>・各自治体でのICTに関するトラブルへの対応策</li> <li>・アフターGIGAを見据えたICT整備の方針</li> <li>・有識者の招聘による助言 等</li> </ul>				
担当課	教育委員会事務局教育企画課教育情報班	連絡先	078-362-3779	(内線 5746)	

事業名	(新)デジタル技術を活用した県立学校業務の効率化の推進				
予算額 (千円)	108,683	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	108,683
事業 内容	<p>1 (新)就学支援制度オンライン申請システムの構築・導入：59,400千円          高等学校及び特別支援学校の就学支援制度申請にかかる保護者等の利便性向上と審査・認定業務の効率化を図るため、オンライン申請システムを導入          ○ 整備内容 オンライン申請システムの構築          ○ 運用開始 令和7年4月(予定)</p> <p>2 (新)特別支援教育就学奨励費システムの改修：24,753千円          特別支援教育就学奨励費の支給等にかかる業務を効率化するため、オンライン申請データの連携やマイナンバーによる税情報等の照会、支給決定等の業務全般を同一システム内で一元管理できるシステムに改修          ○ 整備内容 特別支援教育就学奨励費システムの改修          ○ 運用開始 令和6年4月(予定)</p> <p>3 (新)県立学校教職員等給与関連申請システムの改修：12,100千円          教職員の給与関連の申請・情報照会等の手続をシステム化          ○ 整備内容 給与関連申請システム等の改修 等          ○ 運用開始 令和6年4月(予定)</p> <p>4 (新)県立学校教職員旅費システムの改修：12,430千円          教職員の旅行申請・旅費請求等の手続をシステム化          ○ 整備内容 旅費システムの改修          ○ 運用開始 令和6年4月(予定)</p>				
担当課	教育委員会事務局財務課学校経理・整備班 教育委員会事務局学事課給与管理班 教育委員会事務局財務課財務班	連絡先	078-362-3882 078-362-3746 078-362-3743	(内線 5713) (内線 5638) (内線 5645)	

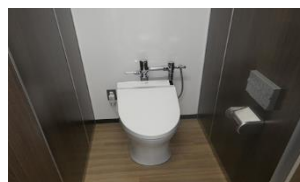
事業名	(拡)教職員の働き方改革の推進				
予算額 (千円)	307,388	国庫	特定	起債	一般
		127,570	0	0	179,818
事業 内容	<p>1 (拡)スクール・サポート・スタッフの配置拡充：142,800千円  小中学校教員の業務負担軽減を図るため、県がモデル事業として実施している  スクール・サポート・スタッフの配置を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ (拡)配置人数 小中学校全校(配置予定校) (現行)40人[各市町1人]</li> <li>○ 配置時間 週15時間×42週</li> <li>○ 業務内容 消毒作業、授業準備、外部対応、会議準備等</li> <li>○ 実施手法 市町への補助(補助率1/3)</li> </ul> <p>2 (拡)県立学校業務支援員の配置時間の拡充：119,588千円  県立学校教員の業務負担軽減を図るため、現在配置している業務支援員の配置  時間を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配置人数 153人(県大付属、定時・通信制、分校・分教室を除く県立 学校に各校1人)</li> <li>○ (拡)配置時間 週15時間×42週(現行週9時間)</li> </ul> <p>3 (拡)中学校部活動における地域移行等に向けた実証事業：44,000千円  国庫を活用し、部活動の地域移行に向けた環境の一体的な整備を実施</p> <p>(1) 実証事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備を推進</li> <li>・参加費用負担への支援などを加えた実証事業の実施</li> </ul> </li> <li>○ 実施手法 市町へ委託(運動部 5市町、文化部 1市町)</li> </ul> <p>(2) 部活動地域移行推進会議の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツクラブや文化連盟等の関係団体との連絡調整</li> <li>・地域連携・地域移行に向けた環境整備のあり方について検討(コーディネーター配置による指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備、生徒の参加費用負担への支援など)</li> <li>・連絡協議会での各市町における課題や取組を情報共有</li> </ul> </li> </ul> <p>4 (新)教職員の業務改善モデル事業の実施：1,000千円  教職員の恒常的な時間外勤務の実態を分析するため、学校業務改善の調査研究  を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営コンサルタントによるモデル校における助言指導</li> <li>・学校業務改善事例集の作成・周知</li> </ul> </li> <li>○ モデル校 県内公立小・中学校、県立高等学校 各1校</li> </ul>				
	担当課	教育委員会事務局教職員企画課給与業務改善班 教育委員会事務局体育保健課学校体育班 教育委員会事務局義務教育課初等・中学校教育班	連絡先	078-362-9424 078-362-3787 078-362-3771	(内線5651) (内線5776) (内線5720)




事業名	(新)ひょうご不登校対策プロジェクトの実施				
予算額 (千円)	3,000	国庫 3,000	特定 0	起債 0	一般 0
事業内容	<p>不登校児童生徒数の増加を踏まえ、県、教育事務所、市町、関係機関、学校等が全県で一丸となり、不登校児童生徒支援を推進する体制を構築し、不登校対策を総合的に実施</p> <p><b>1 兵庫県における取組</b></p> <p>(1) ひょうご不登校対策推進協議会：876千円 不登校に関する関係機関等(※)が一堂に会し、不登校児童生徒の現状の共有及び、今後の支援の方向性等を協議 ※学識経験者、県・市町教育委員会、学校関係者、不登校支援関係機関、保護者代表 等</p> <p>(2) ひょうご不登校対策地域会議：1,754千円 県内各教育事務所に設置する学校問題サポートチームを中心に連携体制を構築し、地域における不登校の現状把握・支援の在り方の検討・発信</p> <p>(3) 不登校対策地域研修会：256千円 未然防止・初期対応・継続支援に関する協議等のため、研修会を開催 ○内 容 ・不登校対策の在り方の共通理解 ・各校の不登校対策支援プランの内容協議 ・不登校担当教員の活用 等</p> <p>(4) ひょうご不登校対策推進委員会：114千円 推進協議会構成員の学識経験者、県立但馬やまびこの郷、ひょうごっ子悩み相談センター等により組織された委員会において、地域毎の取組内容の共有や成果と課題について分析・検証し、支援の方策を検討</p> <p><b>2 市町教育委員会・学校における取組</b></p> <p>(1) 市町不登校対策連絡協議会の設置 市町不登校対策連絡協議会の設置により、管内の不登校の現状把握等に基づき、多様な支援のあり方や取組等に関する協議・情報共有</p> <p>(2) 学校不登校対策チームの設置 学校不登校対策チームを設置し、各校の実態把握、それに基づく不登校対策支援プランを作成し、各校の取組について評価・検証</p> <p>(参考) 対策の流れ</p> <pre> graph LR     subgraph Prefecture [全 県]         P1[○不登校対策推進協議会]         P2[○不登校対策推進委員会 全県の現状共有・支援の方向性検討、 成果と課題分析等]     end     subgraph EducationOffice [教育事務所単位]         E1[○不登校対策地域会議]         E2[○不登校対策地域研修会 地域の現状把握・支援の在り方 検討・発信]     end     subgraph MunicipalitySchool [市町・学校]         M1[○不登校対策連絡協議会]         M2[○学校不登校対策チーム 実態把握、対策支援プラン作成、 評価等]     end     Prefecture --&gt; EducationOffice     EducationOffice --&gt; MunicipalitySchool   </pre>				
担当課	教育委員会事務局義務教育課生徒指導班	連絡先	078-362-3773	(内線 5723 )	

事業名	(新) 県立学校環境充実事業の実施(R5~R10)				
予算額 (千円)	2, 854, 453	国庫	特定	起債	一般
		0	0	2,524,400	330,053
事業 内容	<p>老朽化が進行している県立学校施設について、県立学校施設管理計画に基づく長寿命化改修を計画的に実施するとともに、選択教室や体育館の空調整備、発展的統合に伴う整備など、施設の環境改善を集中的に実施 [総額 126 億円 (R5~R10)]</p>				
	<p>1 (新) 選択教室への空調整備 : 382,500 千円 (総額 23 億円)</p> <p>○ 対 象 県立学校を選択教室 510 室            ※特別教室 5 教室に加えて、            少人数教育等で利用が増えている選択教室</p>				
	<p>2 (新) 体育館(避難所)の空調整備 : 935,000 千円 (総額 29 億円)</p> <p>○ 内 容 避難所運営における被災者の熱中症対策など、体育館への空調整備を早期に実施</p> <p>○ 対 象 避難所指定を受けている            [未整備の特別支援学校 9 校            未整備の高等学校 43 校            (政令指定都市 3 校、中核市各 2 校、その他市町(32 市町)各 1 校)]</p>				
	<p>3 (新) 発展的統合に伴う学習環境の整備 : 30,535 千円 (総額 34 億円)</p> <p>○ 内 容 講義棟等新しい学習環境の整備</p> <p>○ 対 象 発展的統合校</p> <p>○ 活 用 方 法 大学等の研究者・地域人材等の講義の聴講、成果発表等</p>				
	<p>4 (拡) 県立学校の緊急修繕・環境改善対策 : 506,418 千円 (総額 30 億円)</p> <p>○ 緊急修繕・環境改善(消防設備の漏水、教室等の床の破損等)</p>				
<p>5 (継) 県立学校普通教室棟のトイレ改修 : 1,000,000 千円 (総額 10 億円)</p> <p>○ 内 容 ・ 利便性の向上、衛生環境の改善 (便器の洋式化、床の乾式化)            ・ 省エネ対策 (節水タイプの便器、照明の LED 化)            ・ 感染症対策 (手洗い・小便器の自動水栓化)</p> <p>○ 対 象 高等学校 10 校</p>					
担当課	教育委員会事務局財務課学校経理・整備班	連絡先	078-362-3759	(内線 5686)	



【講義棟 (イメージ)】



事業名	(新)ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業の実施				
予算額 (千円)	395,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	395,000
事業 内容	<p>児童生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備として、授業や部活動で使用する用具・備品、各校の状況・特色に応じた整備を集中的に実施 [総額 12 億円 (R5～R7)]</p> <p><b>1 備品等整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校で統一的な整備を実施(一律、学級・児童生徒数配分) 授業・部活動で多く使用する球技用ボール・器具 等</li> <li>○ 各校判断で整備(部活数、学級・児童生徒数配分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業・部活用備品(電子ピアノ、3Dプリンタ、ドローン、被服用ミシン等)</li> <li>・学習環境の充実(生徒用机の天板拡張用具(タブレット対応) 等)</li> <li>・図書の実(図書・新聞購入、本棚 等)</li> <li>・生活環境の向上(下駄箱の更新・個人用ロッカー 等)</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p><b>2 グラウンドの芝生化のモデル整備</b> 部活動を行う生徒からの要望のある学校グラウンドの芝生化のモデル整備を実施</p>				
	担当課	教育委員会事務局財務課学校経理・整備班	連絡先	078-362-3744	(内線 5633)

事業名	(拡)地域と学校の連携・協働体制推進事業				
予算額 (千円)	67,749	国庫	特定	起債	一般
		31,899	0	0	35,850
事業 内容	<p>子どもの成長を支えていくため、地域と学校が連携・協働する仕組みを一体的に実施する。</p> <p><b>1 地域・学校協働体制の推進：1,567千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域連携関係者研修の実施 統括地域コーディネーターや市町行政担当者、教職員等を対象に研修会を実施</li> <li>○ 教職員のための社会教育主事講習受講の支援 学校教職員に対して、社会教育主事講習の受講を支援</li> <li>○ 地域連携アドバイザーの派遣 市町や県立学校に対する、コミュニティ・スクール等と地域学校協働活動との一体的推進についての助言等</li> </ul> <p><b>2 地域学校協働活動の支援：55,900千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統括地域コーディネーターの配置 地域学校協働活動を有機的に組み合わせるよう、各市町へ統括地域コーディネーターを配置</li> <li>○ 地域学校協働活動の実施 学校における働き方改革を踏まえた活動及び地域人材による学習支援・体験活動を実施</li> </ul> <p><b>3 (新) コミュニティ・スクールの導入推進及び活動の充実を図る実践研究：10,282千円</b></p> <p>既存コミュニティ・スクールの発展・拡充及び、さらなる導入に向けた調査研究を実施（市町委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入推進の取組 対 象 ・コミュニティ・スクール未導入または一部のみ導入済の市町 ・類似の仕組みを導入している市町 取組内容 コミュニティ・スクール未導入の学校における個別の課題や特色について検証し、コミュニティ・スクールの導入に向けた具体的方策を検討</li> <li>○ 取組充実の取組 対 象 コミュニティ・スクール導入済の市町 取組内容 導入済のコミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動を活用した「社会に開かれた教育課程」や、学校や教員の課題・ニーズを踏まえた教員の働き方改革に資する活動の実施について、具体的な方策を検討</li> </ul>				
	担当課	教育委員会事務局社会教育課社会教育班	連絡先	078-362-3782	(内線 5756)

事業名	(新)第45回全国公民館研究集会兵庫大会等の開催支援				
予算額 (千円)	440	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	440
事業内容	<p>公民館活動の関係者が一堂に集まる研究大会を開催し、本県の社会教育を共に推進する公民館活動の充実を支援 (全国公民館研究集会兵庫大会、近畿公民館大会兵庫大会、兵庫県公民館大会を同日開催)</p> <p>○ 日 程 令和5年11月24日 ○ 会 場 加古川市 ○ 内 容 記念講演、パネルディスカッション 等</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局社会教育課社会教育班	連絡先	078-362-3782 (内線 5756)		

事業名	(拡)ひょうごプレミアム芸術デーの実施															
予算額 (千円)	9,895 (一部芸術文化振興基金) (一部ふるさとひょうご寄附金)	国庫	特定	起債	一般											
		0	9,895	0	0											
事業内容	<p>県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設を無料開放するひょうごプレミアム芸術デーを県内市町・民間へも取組を拡大するとともに、障がいのある方や子育て中の方等にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施</p> <p>○ 実施期間 ・令和5年7月11日(火)～17日(月) ○ 実施内容 ・芸術文化施設の無料開放 ※趣旨に賛同する市町・民間芸術文化施設にも対象を拡大 ・特別イベント(子ども向けイベント等)の実施 ・プレミアム芸術デーのPR(オープニングフォーラム・広報の充実) ・(新)エバーサルデー(仮称)の設定、一時保育実施、手話通訳の配置等</p> <p>(成果指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>最終目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合</td> <td>39%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>50% [R7年度]</td> </tr> </tbody> </table> <p>(事業終期)令和7年度</p>				指標名	R4	R5	R6	R7	最終目標	暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合	39%	50%	50%	50%	50% [R7年度]
指標名	R4	R5	R6	R7	最終目標											
暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合	39%	50%	50%	50%	50% [R7年度]											
担当課	県民生活部芸術文化課企画運営班 教育委員会事務局社会教育課施設・管理班	連絡先	078-362-3146 (内線 2764) 078-362-9434 (内線 5765)													



事業名	(新)県立歴史博物館 40 周年記念事業の実施				
予算額 (千円)	1,700	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	1,700
事業内容	<p>令和5年度の開館40周年とリニューアルオープンにあたり、記念事業を実施し、博物館の魅力を幅広く発信</p> <p>○ 40周年・リニューアルオープン記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和5年4月(予定)</li> <li>・会 場 県立歴史博物館ロビー</li> <li>・内 容 記念映像上映、テープカット、内覧会 等</li> </ul> <p>○ 記念講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 程 令和5年春(予定)</li> <li>・会 場 姫路市</li> <li>・演 題 「歴史をつなぐ博物館」(仮題)</li> </ul> <p>(事業終期)令和5年度限り</p>				
担当課	教育委員会事務局文化財課文化財班	連絡先	078-362-3784	(内線 5763)	

事業名	(新)HYOGO ミュージアム魅力発信プロジェクトの実施				
予算額 (千円)	1,900 (地域創生基金)	国庫	特定	起債	一般
		0	1,900	0	0
事業内容	<p>2025 大阪・関西万博を契機として、県立社会教育施設等の活性化及び魅力を発信するため、大学生等を活用したプロジェクトを実施</p> <p>○ 企画検討委員会の設置・運営</p> <p>万博開催に向けた機運醸成や誘客施策について、魅力発信・集客力向上につながる取組を検討・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成員 有識者(大学教授、マスコミ、観光関係)、各施設担当者、HM サポートーズ代表 14 人 等</li> <li>・回 数 3 回</li> </ul> <p>○ 施設の魅力向上・発信に資する取組の実施</p> <p>○ 大学生等によるミュージアムサポートプロジェクト</p> <p>選定された HM サポートーズ(28 人)が中心となり、若者の斬新な目線で施設の情報発信や活性化を図る取組を企画・提案</p> <p>※対象施設：美術館、歴史博物館、考古博物館(加西分館含む)、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、陶芸美術館、横尾忠則現代美術館</p> <p>(事業終期)令和7年度まで</p>				
担当課	教育委員会事務局社会教育課施設・管理班 県民生活部芸術文化課企画運営班	連絡先	078-362-9434 078-362-3146	(内線 5765) (内線 2764)	

事業名	(新)特別国民体育大会等近畿ブロック大会の開催				
予算額 (千円)	35,000	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	35,000
事業内容	<p>鹿児島県で行われる国体本大会等に向けた近畿ブロック大会が本県で行われることから、開催に要する経費を支援</p> <p>○ 日 程 ・本大会 31 競技 6月～9月 ・冬季大会 1 競技 12月</p> <p>○ 会 場 ・県下 11 市(神戸市、姫路市等) ・県外 3 市 1 町 1 郡(京都府亀岡市等)</p> <p>○ 実施手法 (公財)兵庫県スポーツ協会へ補助金支出</p> <p>(事業終期)令和5年度限り</p> <p><b>【参考】</b> 本大会開催県 鹿児島県 10月 冬季大会開催県 北海道(スケート・アイスホッケー) 未定 山形県(スキー) 2月</p>				
担当課	教育委員会事務局スポーツ振興課競技・生涯スポーツ班	連絡先	078-362-9446	(内線 5710)	

事業名	(拡)スポーツ大会招致事業				
予算額 (千円)	6,000	国庫	特定	起債	一般
		0	6,000	0	0
事業内容	<p>質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。</p> <p>○ 助成対象 (公財)兵庫県スポーツ協会及びJSP0、JOCに加盟する団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等 競技の聖地化に向けて、複数年連続(上限3回)に拡充(現行1回)</p> <p>○ 助成額 大会運営費(食料費、事務局運営費、備品購入費等除く)、会場借上費を対象として助成(1大会上限100万円)</p>				
担当課	教育委員会事務局スポーツ振興課競技・生涯スポーツ班	連絡先	078-362-9446	(内線 5778)	

事業名	(新)幼児の運動習慣づくり推進事業				
予算額 (千円)	400	国庫	特定	起債	一般
		0	0	0	400
事業内容	<p>第2期スポーツ推進計画に基づき、運動・スポーツが好きな子どもの増加を図るため、幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組む。令和5年度は専門家による推進会議を設置し、課題等の分析を実施するとともに、保護者等への普及・啓発の方策を検討する。</p> <p>○ 事業内容 「幼児の運動習慣づくり推進会議」の設置 有識者からなる会議（年間3回）において、本県の現状及び課題等の分析、子どもの運動好きや運動習慣の定着に向けた運動遊び等の取組を検討する。</p>				
担当課	教育委員会事務局スポーツ振興課競技・生涯スポーツ班	連絡先	078-362-9446	(内線 5778)	

# 参考 児童生徒の学校生活環境の充実

部活動など学校生活を応援することで学校への愛着を形成し、シビックプライドを醸成する。

- ・実施年度 令和5～10年度
- ・総事業費 300億円（R5～10）

## 【事業内容】

	事業費
1 県立学校施設の環境充実事業（R5～R10）〔P12 参照〕	126 億円
(1) 選択教室の空調整備（510 室）	（23 億円）
(2) 避難所指定体育館の空調整備（52 校） 避難所指定を受けている未整備の特別支援学校 9 校 及び高等学校 43 校 〔政令市 3 校、中核市各 2 校、その他市町（32 市町）各 1 校〕 〔※対象校のない西脇市・福崎町・佐用町・市川町除く〕	（29 億円）
(3) 発展的統合校の特色づくり	（34 億円）
(4) 環境・緊急修繕事業の強化	（30 億円）
(5) 普通教室棟トイレ改修（10 校）	（10 億円）
2 ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業（R5～R7）〔P13 参照〕	12 億円
(1) 備品等の整備	（9 億円）
(2) グラウンドの芝生化のモデル整備	（3 億円）
3 新たな特別支援学校の整備（R5～R9）〔P5～P6 参照〕	162 億円
(1) 豊岡聴覚特別支援学校と出石特別支援学校の発展的統合	（44 億円）
(2) 東播磨地域の狭隘化対策	（118 億円）